



日野でおしゃれな "Me" をつくる
meet mate moment...

J♥HOME

棚田のふるさと
布川号
新潟県布川地区

J jissen・女子
H hino
O oshare(オシャレ)
M me(私)
E experience(経験)

日野でおしゃれな "Me" をつくる
meet mate moment...



帰りたくなるふるさと 布川



新潟県十日町市松之山にある、9つの集落が集まった地区です。
高齢化の進むこの地域には、昔から続く温かい人のつながりや、
季節を感じることでできる豊かな自然が溢れています。
農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に選定された美しい棚田の
風景や、美味しいお米や野菜に
恵まれ、また「大地の芸術祭」
の開催地となっています。



私たちにとって布川とは？

私にとって布川とは、ほっとする場所です。自然が豊かで人が温かく、ずっと居たくなるような、そんな力を持っています。布川で感じる風や鳥・虫の音、草木が揺れる音は心地良く、日々の疲れを忘れ、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

岩間 綾

私にとって布川は、心癒やされる安らぎの場所です。山に囲まれており空気がきれい、空を近く感じます。そして何より人の温かさに癒やされます。いつ行っても優しく出迎えてくださる居心地の良い場所です。街灯がほぼないので、夜は都会では見られない満天の星が広がり、とても感動します。

水野 優花

私にとって布川とは、人の温かさを感じられる場所です。布川の皆さんは、実践生が布川を訪れると「おかえりなさい」と毎回温かく迎えてくださいます。都会にはない豊かな自然の中で、心優しい布川の方たちと交流することで、人と人とのつながりを感じることができます。

星野 真央

自分らしく、他人と比較することなく、着飾ることなく等身大でいられる、私にとって大切な居場所です。地域の人とのたくさんの出会いが、人生を豊かにしてくれるのだと実感することができます。

小澤 早紀

日野で布川を感じる場 目野市立 カワセミハウス



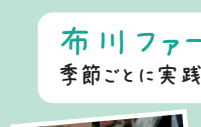
日野市を象徴する緑と清流に囲まれた地にある、環境情報センターの機能と地区センターの機能を融合した複合施設です。
誰もが居心地良く感じられる場所を目指す施設で、子供から大人まで幅広い世代の交流の場となっています。
本ゼミの活動拠点となっており、私たちにとっても大切な居場所です。



カワセミハウスでは / ?どんな活動をしているの?



オクトーバーフェスト
毎年10月に開催される温かい地域のお祭り
ワークショップなどを通じて布川や日野の住民と交流



布川ファーマーズマーケット
季節ごとに実践生が布川のお野菜とお米を販売



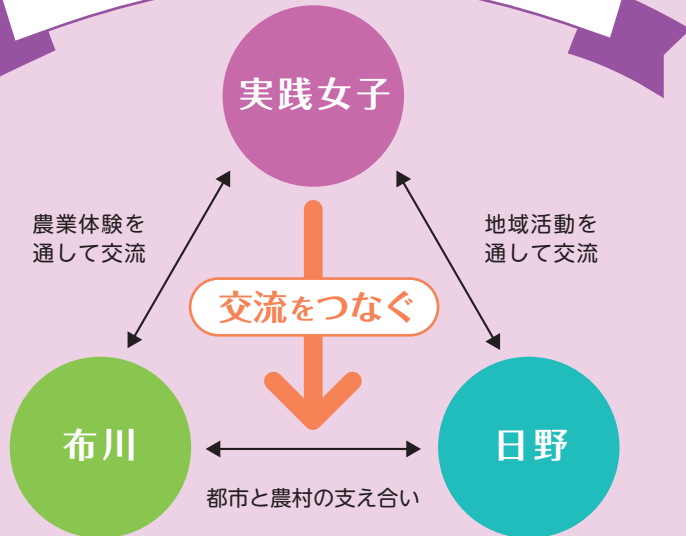
日野むすび
日野市産の竹皮で包んだ布川米のおにぎりで交流

このリーフレットを通して布川の自然や人の温かさが伝わり、少しでも心惹かれるものがあればと思います。そして、日野と布川をつなぐを通して、都市と農村の在り方について考えるきっかけになれば嬉しいです。

J♥HOME とは？
地域と大学をつないで、日野キャンパスライフの充実を提案する学生ライフスタイルマガジンです。「多摩の学生まちづくりコンペティション 2016」奨励賞受賞。

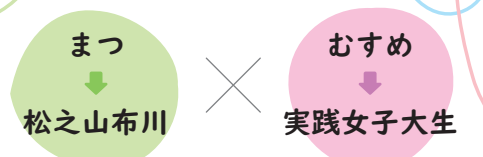
発行：実践女子大学生生活科学部現代生活学科
地域・生活文化研究室（須賀ゼミ）
協力：日野市企画部
問い合わせ： gensei@jissen.ac.jp
※このリーフレットの情報は2023年2月現在のものです

つなぐプロジェクト



ぬくりん
布川×実践×日野の三者のつながりを表すために誕生したシンボルマーク。布川を表す自然（緑）とお米、実践女子を表す女の子と桜、日野の市鳥であるカワセミをモチーフとしたマークになっている。

まつおすめ



布川と実践女子大学が共同で作るお米「まつおすめ」は、コシヒカリの従来品種を使い「手植え」「手刈り」「はせかけ」というこだわりを持っています。手間暇かけた「まつおすめ」は、一粒ひとつぶが艶やかでしっかりとっていて、噛めば噛むほど甘さが感じられます。そして実践と布川の間も感じる事ができます。



布川ファーマーズマーケットや大学の文化祭で販売しています



布川ファーマーズマーケット

日野市豊田にあるコミュニティセンターで季節ごとに開催しています。布川の季節の新鮮野菜とお米を販売しており、布川について知ることのできる展示物もあるため、地域の方から好評をいただいています。



<p>春</p>	<p>夏</p>	<p>秋</p>	<p>冬</p>
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

オススメ野菜 布川ファーマーズマーケットで購入することのできるオススメ野菜を紹介。

<p>コリンキー 日本では珍しい生食用のかぼちゃ。コリコリとした食感が特徴。漬物やサラダにして食べる。</p>	<p>糸ウリ シャキシャキとした食感が特徴で、漬物として食べるのが主流。麵つゆや塩昆布等で漬けて食べる。</p>	<p>神楽南蛮 ピーマンに似た食味と食感の唐辛子。中心に切り込みを入れ、そこに甘味噌を入れて焼いて食べる。</p>
--	---	--

山里布川米とは？

布川を大切に想うお父さんたちが作る「山里布川米」。屋号では、向、上根、角屋、法院と呼ばれています。コシヒカリ BL と呼ばれる、いもち病に抵抗性を持つように改良した品種を使い、それぞれこだわりを持って作っています。このコシヒカリの味わいは、自然豊かな土地と雪国の風土から生まれ、布川を愛するお父さんたちによって育まれた美味しさです。炊いたお米は一粒ひとつぶしっかりとおり、甘味が感じられ、何度でもおかわりしたくなります。



布川で交流のある皆さん紹介

小野塚建治さん
東京からリターンしてきた世話人頭で、地域の中だけでなく、都会とのつながりも作り出しています。いつも私たちを温かく迎えてくださる、実践女子大生のお父さんの存在です。

渡辺新一さん
いつもとびっきりの笑顔で私たちを迎えてくれる新一さん。布川の冬には欠かせない大型除雪機を運転する数少ない1人です。棚田アートも手掛けており、地域の賑わいづくりに貢献しています。

村山幸夫さん
農業委員であり、地域の中心人物でもある幸夫さん。朗らかな雰囲気、人を包みこむような優しさを持っています。牛の飼育もしており、毎日農作物や牛の命に触れる生活をしています。

お母さん方
布川ファーマーズマーケットで販売する野菜を生産して下さっているお三方。毎日、たわいもない話をするほど仲が良く、笑顔がとっても素敵なお母さんたちです。

布川活動記録

布川での日々の生活やイベントに参加する中で、豊かな自然や温かい人々に触れ、農村の暮らしを肌で感じる事ができました。

<p>春</p> <p>田植え 5月に田植えを行いました。田植えをしたことで、お米を作る大変さを実感し、もっと大切に食べようと感じました。</p> <p>田植え前の苗床 苗床の若い稲たちには、苗床への田植えを心待ちにしているように見えます。</p>	<p>夏</p> <p>柵田めぐり 布川の柵田を案内していただきました。お話を聞きながら、柵田を維持していくことの大変さや自然の豊かさを見て感じる事ができました。</p> <p>道普請 集落ごとに集まり道路の草刈りを行いました。暮らしを守っていくための大事な地域の行事に参加することができ、とても良い経験になりました。</p> <p>ツールド妻有 楽しむことを忘れずに険しい山道に向かってサイクリング参加者の方を見て、私たちが勇気をもらうことができました。</p>	<p>秋</p> <p>稲刈り 9月末に稲刈りを行いました。稲を刈った後は、お米の栄養とうま味が増すように「はせかけ」を行いました。</p> <p>けんちん汁 布川のお母さんのお宅にお邪魔し、地域ならではの具だくさんの美味しいけんちん汁の作り方を教わりました。</p> <p>カルタ交流 都市農村交流に関するカルタを作り、布川のお父さん方と一緒にカルタを行いました。そのカルタの札をきっかけに都市と農村の暮らしの違いや布川の未来について語り合いました。</p>	<p>冬</p> <p>大雪</p> <p>冬になると約160cmの看板が埋まってしまいます！</p> <p>どんど焼き</p>
---	--	--	---